

令和元年度第1四半期
厚生年金保険給付組合積立金 運用状況

 警察共済組合

目 次

1	令和元年度 運用実績概要(第1四半期)	2
2	令和元年度 市場環境	3
3	令和元年度 資産構成割合	5
4	令和元年度 運用利回り	6
	(参考)平成30年度 運用利回り	7
5	令和元年度 運用収入の額	8
	(参考)平成30年度 運用収入の額	9
6	令和元年度 資産の額	10
	(参考)平成30年度 資産の額	11
7	資金運用に係る用語の解説	12



1 令和元年度 運用実績概要（第1四半期）

運用収益額	+35億円	※総合収益額
	+159億円	※実現収益額
運用利回り	+0.23%	※修正総合収益率
	+1.26%	※実現収益率
運用資産残高	1兆4,738億円	※時価総額

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、運用に対する組合員等の理解を促進するため、また、情報公開による透明性確保の観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変化するものであることに留意が必要です。

（注1）収益額及び収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

（注2）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



2 令和元年度 市場環境①

【各市場の動き:平成31年4月～令和元年6月】

国内債券: 10年国債利回りは、低下しました。米中貿易摩擦の激化懸念の影響や、米欧中銀による早期利下げ期待の高まりを背景に低下しました。

国内株式: 国内株式市場は、下落しました。期初は、米中問題の進展期待などから株価は上昇しましたが、期央は一転して米国の対中、対メキシコの通商政策への懸念の高まりから下落に転じました。期末にかけ米国の利下げ期待などから再び上昇しましたが、期を通じて下落となりました。

外国債券: 10年国債利回りは、米国、ドイツともに低下しました。

米国10年国債利回りは、米中貿易摩擦の激化を発端とする世界経済の減速懸念や、FRBによる早期利下げ期待の高まりを背景に低下しました。

ドイツ10年国債利回りは、米中貿易摩擦の激化を発端とする世界経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱を巡る混乱やイタリアの財政不安等のEU内における不透明感の高まりを背景に低下しました。

外国株式: 外国株式市場は、米国、ドイツともに上昇しました。

米国株式は、4月に米中通商協議の進展期待などから上昇、5月に一転して米国の通商政策への懸念が高まり、大幅に下落した後、6月にかけて、FRBによる早期利下げ期待の高まりを背景に上昇に転じ、期を通じて上昇となりました。

ドイツ株式も、4月に米中通商協議の進展期待などから上昇、5月に一転して米国の通商政策への懸念の高まりや欧州圏の経済指標の不振等を受け、大幅に下落した後、6月にかけて、FRBやECBによる早期利下げ期待の高まりを背景に上昇に転じ、期を通じて上昇となりました。

ベンチマーク収益率		第1四半期
国内債券	NOMURA-BPI総合	0.91%
国内株式	TOPIX: 配当込	-2.35%
外国債券	WGBI: 除日本 ヘッジなし	0.73%
	WGBI: 除日本 ヘッジあり	2.57%
外国株式	MSCI ACWI: 除日本 配当込	1.25%

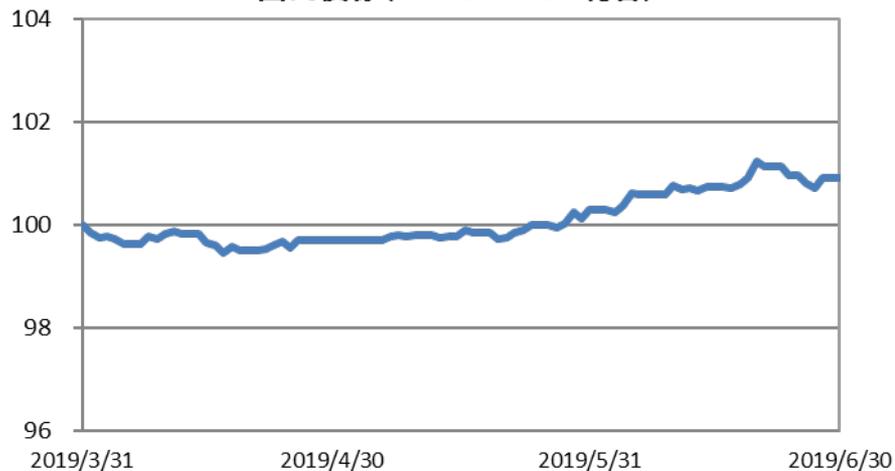
参考指標		平成31年3月末	平成31年4月末	令和元年5月末	令和元年6月末
国内債券	新発10年国債利回り(%)	-0.09	-0.04	-0.10	-0.16
国内株式	TOPIX配当なし(ポイント)	1,591.64	1,617.93	1,512.28	1,551.14
	日経平均株価(円)	21,205.81	22,258.73	20,601.19	21,275.92
外国債券	米国10年国債利回り(%)	2.41	2.51	2.14	2.00
	ドイツ10年国債利回り(%)	-0.07	0.01	-0.20	-0.33
外国株式	NYダウ(ドル)	25,928.68	26,592.91	24,815.04	26,599.96
	独DAX(ポイント)	11,526.04	12,344.08	11,726.84	12,398.80
外国為替	ドル/円(円)	110.84	111.41	108.26	107.88
	ユーロ/円(円)	124.33	125.01	120.93	122.65



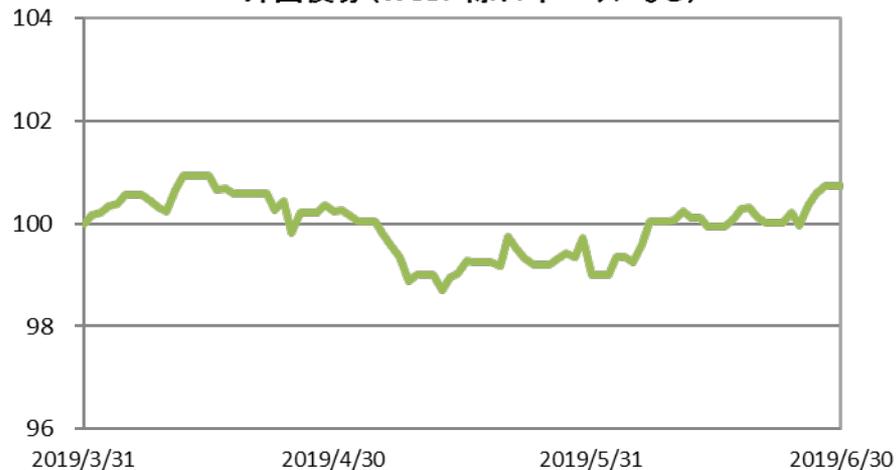
令和元年度 市場環境②

【ベンチマークインデックスの推移:平成31年4月～令和元年6月(平成31年3月末=100)】

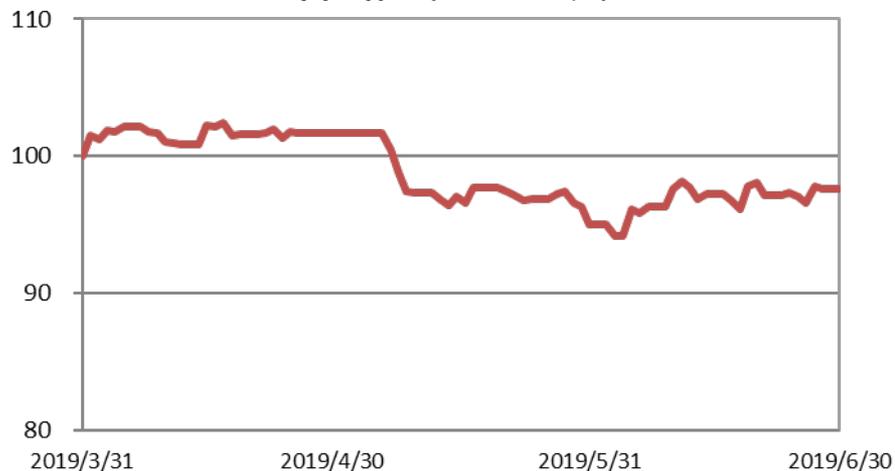
国内債券(NOMURA-BPI総合)



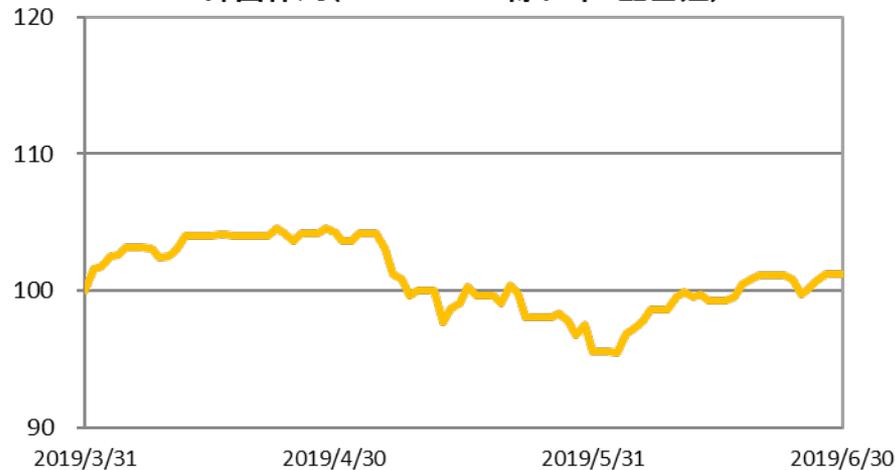
外国債券(WGBI 除日本 ヘッジなし)



国内株式(TOPIX配当込)



外国株式(MSCI ACWI 除日本 配当込)



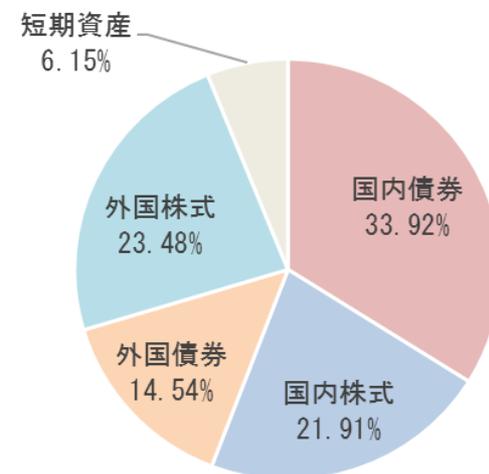
3 令和元年度 資産構成割合

積立金全体の資産ごとの構成割合は次のとおりです。

(単位: %)

	平成30年度	令和元年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	32.89	33.92	—	—	—
国内株式	21.96	21.91	—	—	—
外国債券	14.15	14.54	—	—	—
外国株式	24.11	23.48	—	—	—
短期資産	6.89	6.15	—	—	—
合計	100.00	100.00	—	—	—

第1四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券35%(±15%)、国内株式25%(±14%)、外国債券15%(±6%)、外国株式25%(±12%)です。

(注2) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。

(注3) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注5) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。



4 令和元年度 運用利回り

第1四半期の実現収益率は1.26%となり、修正総合収益率(期間収益率)は0.23%となりました。

(単位:%)

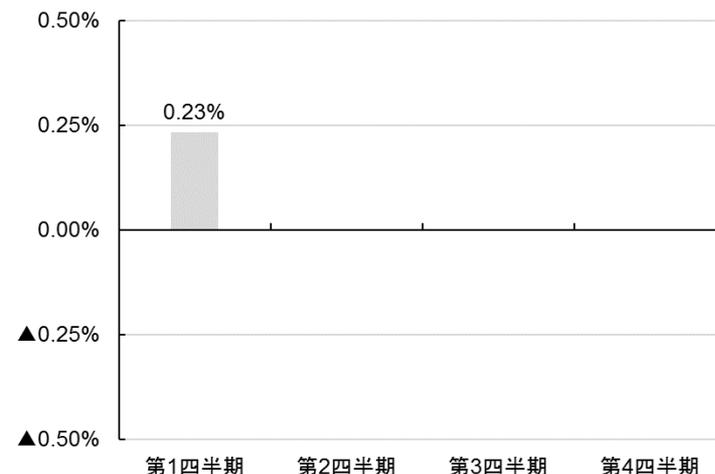
	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.26	—	—	—	1.26
修正総合収益率	0.23	—	—	—	0.23

(単位:%)

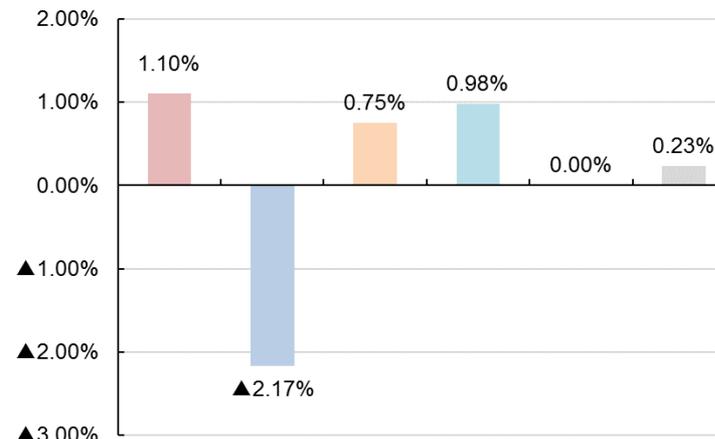
	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.23	—	—	—	0.23
国内債券	1.10	—	—	—	1.10
国内株式	▲2.17	—	—	—	▲2.17
外国債券	0.75	—	—	—	0.75
外国株式	0.98	—	—	—	0.98
短期資産	0.00	—	—	—	0.00

- (注1) 各四半期及び年度計は、期間収益率です。
 (注2) 収益率は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
 (注6) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

修正総合収益率



※棒グラフは、各四半期の期間収益率



※第1四半期の資産別の期間収益率



(参考)平成30年度 運用利回り

(単位:%)

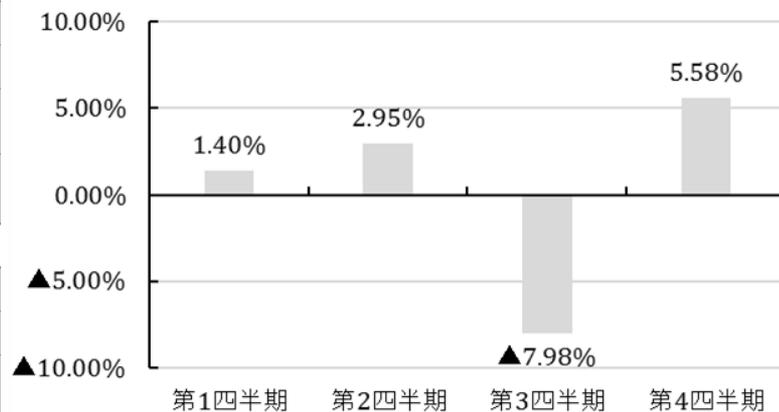
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.97	0.72	0.61	0.83	3.14
修正総合収益率	1.40	2.95	▲7.98	5.58	1.45

(単位:%)

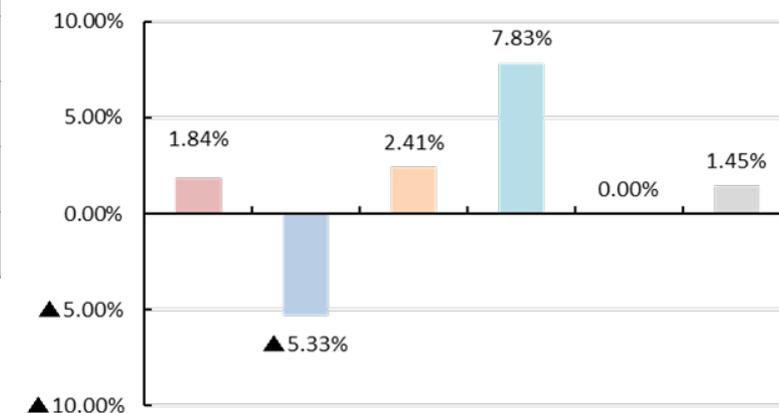
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	1.40	2.95	▲7.98	5.58	1.45
国内債券	0.13	▲0.92	1.36	1.37	1.84
国内株式	0.87	6.06	▲17.61	7.41	▲5.33
外国債券	0.60	1.45	▲2.33	2.82	2.41
外国株式	5.21	7.26	▲15.64	13.88	7.83
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

- (注1) 各四半期及び年度計は、期間収益率です。
- (注2) 収益率は、運用委託手数料控除後のものです。
- (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
- (注5) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

修正総合収益率



※棒グラフは、各四半期の期間収益率



※年度計の資産別の期間収益率



5 令和元年度 運用収入の額

第1四半期の実現収益額は159億円となり、総合収益額は35億円となりました。

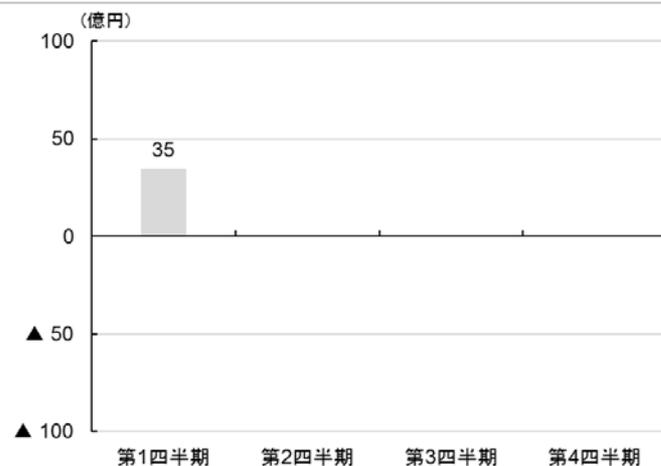
(単位:億円)

総合収益額

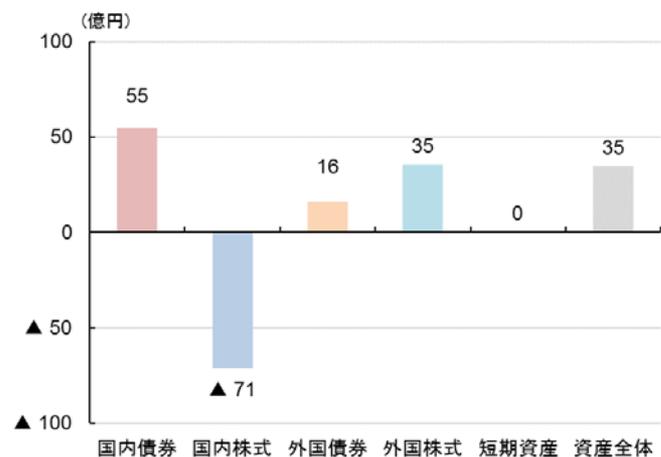
	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	159	—	—	—	159
総合収益額	35	—	—	—	35

(単位:億円)

	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	35	—	—	—	35
国内債券	55	—	—	—	55
国内株式	▲71	—	—	—	▲71
外国債券	16	—	—	—	16
外国株式	35	—	—	—	35
短期資産	0	—	—	—	0



※棒グラフは、各四半期の期間収益額



※第1四半期の資産別の期間収益額

- (注1) 収益額は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注4) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考)平成30年度 運用収入の額

(単位:億円)

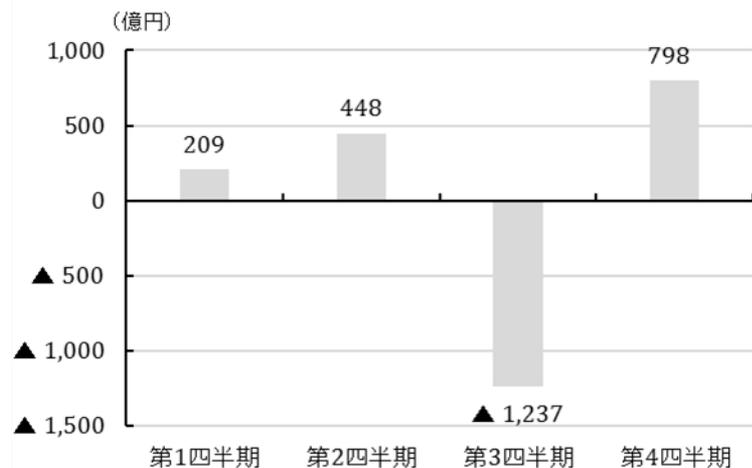
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	123	92	77	107	399
総合収益額	209	448	▲1,237	798	217

(単位:億円)

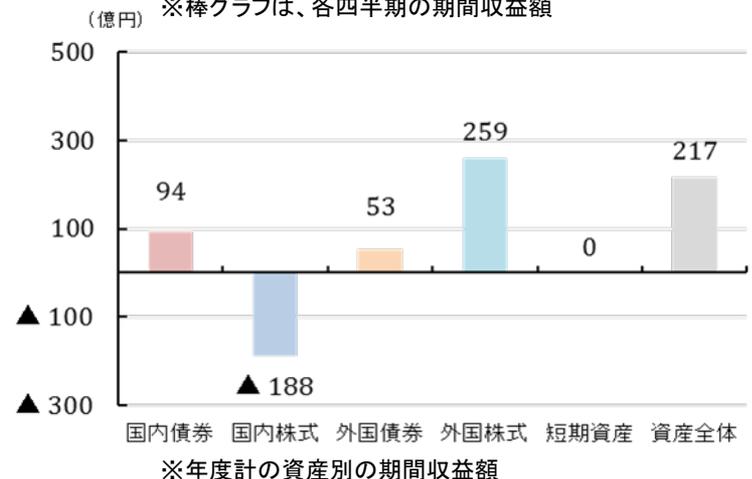
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	209	448	▲1,237	798	217
国内債券	7	▲47	67	67	94
国内株式	30	214	▲661	229	▲188
外国債券	14	31	▲51	59	53
外国株式	158	250	▲592	443	259
短期資産	0	0	0	0	0

- (注1) 収益額は、運用委託手数料控除後のものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。
 (注4) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

総合収益額



※棒グラフは、各四半期の期間収益額



※年度計の資産別の期間収益額



6 令和元年度 資産の額

(単位:億円)

	令和元年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内債券	4,694	4,999	305	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国内株式	2,542	3,229	687	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国債券	2,086	2,143	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式	2,491	3,460	969	—	—	—	—	—	—	—	—	—
短期資産	907	907	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12,719	14,738	2,019	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。

(注2) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

(注5) 時価には、未収収益が含まれています。



(参考)平成30年度 資産の額

(単位:億円)

	平成30年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益									
国内債券	4,938	5,180	242	4,738	4,931	193	4,635	4,877	243	4,667	4,944	277
国内株式	2,438	3,519	1,081	2,451	3,733	1,282	2,495	3,072	576	2,544	3,300	756
外国債券	2,111	2,168	57	2,125	2,200	75	2,063	2,069	6	2,088	2,127	39
外国株式	2,287	3,323	1,036	2,526	3,773	1,247	2,551	3,181	630	2,587	3,624	1,037
短期資産	847	847	0	1,228	1,228	0	986	986	0	1,036	1,036	0
合計	12,621	15,037	2,416	13,068	15,865	2,797	12,730	14,184	1,455	12,922	15,032	2,110

(注1) ヘッジ付き外貨建て債券は、国内債券に含めています。

(注2) 数値を四捨五入しているため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 各ファンドで保有する短期資産は、平成28年度から原則として該当する資産区分に計上しています。

(注4) 時価には、未収収益が含まれています。



7 資金運用に係る用語の解説

○ 基本ポートフォリオ

統計的な手法により定めた、最適と考えられる資産構成割合(時価ベース)です。

○ 許容乖離幅

資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。

○ 修正総合収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加味し、時価に基づく収益を把握するための時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

$$\text{修正総合収益率} = (\text{売買損益} + \text{利息} \cdot \text{配当金収入} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}) / (\text{簿価平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})$$

○ 実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を簿価平均残高で除した簿価ベースの比率です。

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

(計算式) 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減



○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。当組合で採用している各資産のベンチマークは以下のとおりです。

1 国内債券

NOMURA－BPI総合【野村証券金融市場調査部が作成・発表している国内債券市場のベンチマークです。】

2 国内株式

TOPIX(配当込み)【東京証券取引所が作成・発表している国内株式のベンチマークです。】

3 外国債券

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

【FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。】

4 外国株式

MSCI ACWI(除く日本、円ベース、配当込み)【MSCI Incが作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。】

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率。いわゆる市場平均収益率のことです。

